

一緒に開けよう！まちの未来へつづく

鹿嶋市議会だより

とびら

特集

資源が循環するまちへ

サントリー×鹿嶋市

— CONTENTS —

- 特集 サントリー×鹿嶋市……………2～5
- 6月議会の概要……………6
- 市長に提出した要望書……………7
- 常任委員会の活動……………8～9
- ここが知りたい！**一般質問**……………10～17
- きかせて！ あなたの夢……………18



サントリー×鹿嶋市

プラスチックには様々な製品がありとても便利であることから、私たちが普段生活している中で必要不可欠のものになっています。しかしながらその一方で使い方次第では、海洋汚染をはじめとする様々な環境汚染の原因ともなっています。

環境汚染の防止、そしてプラスチック資源循環の取組として、鹿嶋市ではサントリーホールディングス株式会社と協力して「ボトル to ボトル」水平リサイクルという一歩進んだリサイクルの取組を進めています。

今回は未来の子どもたちにきれいな環境を残すことにもつながるこの取組について、サントリーホールディングス株式会社の井上さん、日下部さん、細川さんにお越しいただき、インタビューを行いました。

ペットボトル⇄ペットボトル サステナブルなまちを目指して

ペットボトルを再生し続ける

議員（以下議）鹿嶋市とこの取組を始めたきっかけは何か。

弊社が製造する製品の約7割強がペットボトル製品なのですが、2018年頃からプラスチックによる海洋汚染が大きな問題となっており、将来にわたってプラスチック（ペットボトル）を化石由来樹脂を使い、新たに生産していくことに対する問題意識を持っていました。

この解決策として、ペットボトルを再生し、ごみにすることなく環境汚染を防ぎ、資源を新たに使う必要がない技術を温めてきましたが、その

原材料となる使用済ペットボトルの提供を、やはり循環型社会の推進を模索していた鹿嶋市様から御賛同をいただいたことがきっかけで協定を締結することとなりました。

100%のペットボトル循環を

議 この「ボトル to ボトル」と一般的なリサイクルの違いは何ですか。

一般的に知られている多くのリサイクル、例えばプラスチックを例とすると、回収された使用済プラスチックは、洋服などの繊維や、食品トレイ等に姿形を変え、最終的にはやはりごみとして焼却されることが多いのですが、こ



の「ボトル to ボトル」は「水平リサイクル」と呼ばれ、回収したペットボトルを様々な処理をした上で再びペットボトル製品とする取組です。

これにより、分別回収がきちんとされていれば、ペットボトルは半永久的に再びペットボトルとして利用され循環





左から、サントリーホールディングス株式会社の日下部 健氏、井上 士朗氏、細川 智弘氏

し続けることができます。要は、ペットボトルはごみにならず、大切な「資源」となります。したがって化石由来樹脂の使用を大幅に削減することも可能です。これが「ボトル・ゼロ」と一般的な多くのリサイクルとの違いと考えます。弊社では2030年には化石由来樹脂の使用を「ゼロ」として、全て「ボトル・ゼロ」の取組による100%ペットボトル循環を実現することを目標としています。

安全性の証明に苦慮

【議】技術的に困難であったと思いますが、いかがですか。

技術的には確立されており可能でしたが、技術以上にハードルが高かったのが、ごみであったものをもう一度人が口をつける製品とすることに対する安全性の証明（リサイクルプロセスで十分に汚染物質を取り除くことが可能であるのかなど）や、数々のテストなどにとっても苦労しました。

鹿嶋市分だけで約1500万本が循環

【議】今年4月から鹿嶋市では不燃ごみの分別方法を変更（※5ページ参照）し、資源循環型社会形成の取組でもあるこの「ボトル・ゼロ」をさらに進めようとしています。現状で、どのくらい資源循環に対して鹿嶋市が貢献することができているのか教えてください。

日本全体でのペットボトル生産本数は、昨年为例とすると約250億本。重量でいうと約60万トンだったのです。



が、そのうち15・7%が「ボトル・ゼロ」による生産となりました。

残念ながら、まだ84・3%は従来どおりの石油由来の原料で作られているというのが現状です。

弊社の生産量というと、2021年はペットボトルの総量約12・4万トンのうち37%の約4・6万トンが「ボトル・ゼロ」由来。この中で鹿嶋市様はおよそ3000トン、本数にすると約1500万本もの生産に貢献されていることとなります。

実は弊社の「ボトル・ゼロ」の取組自体は2011年からスタートしていたのですが、ここ数年で大きく比率が上昇しています（「ボトル・ゼロ」由来でのペットボトル生産割合…2019年21%↓2020年26%↓2021年37%）。これは鹿嶋市様を始め、鹿行5市を含めた現在この取組に参加していただいている多くの自治体様の御協力によるもの大きいと考えています。

未来の子どもたちに きれいな環境を残したい



ガラス瓶が混ざると
「ごみ」になってしまう

【議】分別回収する上で気をつける点は何でしょうか。

もちろん、区分別にペットボトルだけを分別回収していただくことが基本ですが、最も気をつけていただきたいのは、ガラス瓶と混じることです。

もし、ペットボトルの製造過程で、瓶が割れてガラス粉状になったものと、溶かしたペットボトルが混ざった状態でペットボトルとなった場合は、割れや亀裂の原因となるため製品とならず、結果として「ごみ」となってしまいます。せっかくの取組が無駄になってしまいますので、御注意をお願いします。

ペットボトルは
「資源」ごみではなく「資源」

【議】鹿嶋市の市民へメッセージをお願いします。

全国的にも先駆けてこのペットボトルの完全循環が図れる「ボトルtOボトル」の取組に御協力をいただいていることに感謝いたします。ペットボトルは、また元のペットボトルに戻るんだということ



と、「ごみ」ではなく「資源ごみ」でもなく純粋な「資源」であることを、先駆者である皆さんがインフルエンサーとなつてたくさんの人に教えていただければと思います。

ごみにするのも資源とするのも人々の意識次第です。市民の皆様・行政・我々事業者の相互連携で今後も活動をさせていきたいと思っております。よろしくお願いします。

【議】リサイクルと呼ばれる取組の中でも、本市が始めたこの「ボトルtOボトル」は、言わばペットボトルをごみにすることなく、100%循環できるリサイクル。

この半永久的に資源を循環できる一歩進んだリサイクルの取組を、私たちが全国的にも早い時期から行っていることを改めて認識でき、そして鹿嶋市民として誇りを持つこともできました。

未来の子どもたちにきれいな環境を残すためにも、この「ボトルtOボトル」はまずは第一歩と言える取組です。引き続き市民の皆様には御理解と御協力をお願いします。



4月1日～

ごみステーションでの 不燃ごみの 収集方法が 変わっています



持続可能な資源循環型社会の形成に向けた、新規リサイクル事業の効率的な推進と資源ごみの適正な収集を図るため、市内約1750か所のごみステーションで「不燃性の資源ごみ（ペットボトル・缶・ビン）」の収集方法を変更しました。

CHECK

1

不燃ごみのうち 資源の分別が必要です

ペットボトル、缶、ビン、その他の不燃ごみを、下記の袋にそれぞれ分別して入れ、「ごみステーション」に出してください。



ペットボトル



空き缶



空きビン

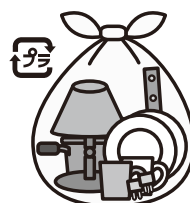
資源

市指定ごみ袋（赤）または透明な袋（45リットルまで）

※ペットボトルのラベルは「可燃ごみ」、キャップは「その他の不燃ごみ」。

※ペットボトル、缶、ビンは、不燃性資源ごみとして、それぞれ別の袋に入れてください。

その他の 不燃ごみ



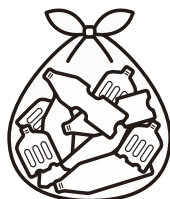
市指定ごみ袋（赤）のみ

CHECK

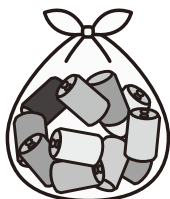
2

収集日が「ペットボトル・缶」と「ビン・その他の不燃ごみ」の月2回ずつに

ペットボトル・缶の日



ペットボトル

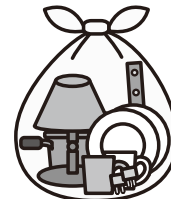


空き缶

ビン・その他の不燃ごみの日



空きビン



その他の不燃ごみ

【ごみステーション収集日】

「ペットボトル・缶」と「ビン・不燃ごみ」の区分で、それぞれ収集日を隔週で設け、月2回^{※1}ずつ収集します。お住まいの地域での収集スケジュールは、3月に市が配布した「令和4年度かしまクリーンカレンダー」または市公式アプリ「かしまナビ^{※2}」でご確認ください。

※1…一例として、第1・3週に「ペットボトル・缶」を収集した場合、第2・4週は「ビン・その他の不燃ごみ」を収集します。なお、第5週は、全地域で不燃ごみ・資源の収集は行いません。

※2…鹿嶋市の情報を簡単に探することができる市公式の統合型アプリです。詳細は、市ホームページ（右記2次元バーコードまたは☎0052522で検索）でご確認ください。



6月
定例会新しい副市長の選任のほか、
プレミアム商品券事業などについて審議

5月31日～6月17日の18日間、令和4年第2回定例会が開催され、市長から提出された10件の議案を審議しました。議決結果は次のとおりです。

議案番号	議 案 名	概 要	結 果
市長から提出された議案 10件			
議案第30号	令和4年度鹿嶋市一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ9,181万5,000円を追加し、総額240億7,181万5,000円とするもの。歳入としては、子育て世帯生活支援特別給付金事業費補助金及び子育て世帯生活支援特別給付金事務費補助金による国庫支出金の増9,181万5,000円を見込み、歳出としては、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業9,181万5,000円を計上。	原案可決
議案第31号	令和4年度鹿嶋市一般会計補正予算（第2号）	歳入歳出それぞれ2億3,907万9,000円を追加し、総額243億1,089万4,000円とするもの。歳入の主なものとしては、新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金の増及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増などによる国庫支出金の増2億2,585万7,000円、財政調整基金繰入金の増1,122万2,000円など。歳出の主なものとしては、新型コロナウイルスワクチン接種委託料などによる新型コロナウイルスワクチン接種経費の増9,546万4,000円、プレミアム商品券事業委託料などによる商工業振興事務経費の増9,300万4,000円、新型コロナウイルス感染症診療・検査等医療機関支援金による救急医療対策経費の増3,000万円、返還金による非課税世帯等臨時特別給付金給付事業857万2,000円などを計上。	原案可決
議案第32号	鹿嶋市資金積立基金条例の一部を改正する条例	企業版ふるさと納税による法人からの寄附金を鹿嶋市ふるさと納税基金へ積み立てるに当たり、必要な規定の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第33号	鹿嶋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	鹿嶋市子宝手当支給事業の廃止に伴い、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項の条例で定める事務から「子宝手当の支給に係る事務」を削除するため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第34号	鹿嶋市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	一般職の職員が正規の勤務時間外において特別職の職務を行った場合において、当該職員に対し、兼ねる特別職の給与の支給ができる旨の規定の整備等を行うため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第35号	鹿嶋市介護保険条例の一部を改正する条例	新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少等一定の条件に該当する介護保険の第1号被保険者を対象に介護保険料の減免を行うため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第36号	鹿嶋市副市長の選任について	鹿嶋市副市長の選任に当たり、地方自治法第162条の規定により、議会の同意を求めるもの。 ・栗林 裕 氏（新任） 昭和54年4月に鹿島町役場（当時）に入庁し、経済振興部長、都市整備部長等を歴任。経済振興、都市基盤整備等に関して広い識見と豊かな経験を持ち、本市行政全般について精通している。	原案同意
議案第37号	鹿嶋市地域子育て支援センター新築工事（建築工事）の請負契約について	今回発注する工事は、宮中地区の賑わい創出及び子育て環境のさらなる充実を図るため、経年劣化による老朽化が進んでいる鹿嶋市地域子育て支援センターを同地区へ新築移転する工事。条件付一般競争入札を電子入札で5月19日に執行した結果、落札した株式会社大地と2億2,880万円で購入契約を締結するため、議会の議決を求めるもの。	原案可決
議案第38号	市道路線の認定について	林地内に整備した道路1路線を認定するもの。	原案可決
報告第3号	専決処分について（鹿嶋市税条例等の一部を改正する条例）	地方税法等の一部を改正する法律が令和4年4月1日から施行されることに伴い、土地に係る固定資産税の負担調整措置等についての規定を整備するため、条例の一部を改正したもの。	原案承認

審査は
8ページ審査は
8ページ審査は
8ページ審査は
9ページ審査は
9ページ審査は
9ページ

6月17日

市長へ要望書を提出しました！

地方創生臨時交付金の活用に関する緊急要望

市において、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を効果的に活用できるよう、下記について検討していただくよう要望しました。

1. コロナウイルス感染者の後遺症及びワクチン接種者の副反応症状に関する相談・対応窓口を開設すること。
2. 新型コロナウイルス感染症の早期発見により感染拡大を防止するため、抗原検査を希望する市民に配布するための検査キットを早急に購入すること。
3. 令和4年度低所得の子育て世帯への生活支援特別給付金（1人当たり5万円）について、給付金の上乗せを図ること。
4. 医療機関等の有症状者への抗原検査で陽性の場合は、必ずPCR検査による確定検査を行うよう強く要請するとともに、PCR検査能力の大幅拡大を実施すること。
5. 今般の様々な食材の値上げ、燃料費、輸送コストなどの高騰により、給食費不足は必至であることから、給食費の補填措置を講ずること。
6. 原油価格や食料品の高騰、更に急激な円安により、市民生活や中小・小規模事業、農漁業、運輸業などに幅広く影響を及ぼしていることから、事業者（特に公共交通事業者を含む）に対する燃料費高騰の負担軽減と経済支援策を講ずること。

ご存じですか？

エス・ディー・ジーズ

SDGs



Sustainable (持続可能な)
Development (開発)
Goals (目標)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

誰一人取り残さないようにするために、
世界で取り組む17の共通目標。



※一般質問ページ(P.10～)に質問に関連する目標ロゴを掲載しています。

詳しくはこちら

プレミアム付き商品券事業等の 補正予算を審査

6月13日に開催した予算決算常任委員会では、補正予算1件について審査しました。

主な質疑

■議案第31号 令和4年度鹿嶋市一般会計補正予算（第2号）

問 プレミアム付き商品券事業でデジタル商品券を販売することだが、利用者側の決済方法はどのようなものを想定しているのか。

答 事業者は委託業者から二次元バーコード等が送られてくるので、レジなどに掲示をする。利用者はスマートフォンで二次元バーコード等を読み込み、金額を入力して支払いをする。

問 紙商品券の販売が少なく、デジタルに対応できる人との不公平感を生んでしまうことに問題はないのか。

答 今回は、市内事業者のデジタル化推進や経済支援といった点に重きを置いた。

【賛成討論】

プレミアム率を大規模店舗（共通）は10%、小規模店舗（専用）は40%と、大きな転換をしております。

採決の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。

プレミアム付商品券事業概要 ※9月申込・販売予定

	デジタル券	紙券
販売金額（総額）	1億5千万円	5千万円
商品券（共通）	5,000円購入で5,500円分	5,000円購入で500円×11枚（5,500円分）
商品券（専用）	5,000円購入で7,000円分	5,000円購入で500円×14枚（7,000円分）
購入上限（5千円単位）	2万円（4セット）	1万円（2冊分）
使い方	1円単位で利用可	500円単位で利用可

総務生活委員会

企業版ふるさと納税を基金に積み立てるための条例改正などを審査

総務生活委員会では、4件の議案を審査しました。

主な質疑

■議案第32号 鹿嶋市資金積立基金条例の一部を改正する条例

問 充対象事業はどのように考えるか。

答 地域再生計画に記載された事業となるが、幅が広く、自由度が高い。

問 企業版ふるさと納税の寄附控除はどのようなものか。

答 寄附額の最大9割が法人関係税などから控除される。

意見 ・魅力ある施策を打ち出し、多くの企業へ積極的にPRしていくべき。

・企業側のメリットもあることから、対等な関係を保ちながら運用していくべき。

から運用していくべき。

■議案第34号 鹿嶋市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

問 学校運営協議会はいわゆるコミュニケーションスクールと呼ばれているものと認識して良いのか。また、鹿行地域内の状況は。

答 学校運営協議会を設置している学校はコミュニケーションスクールと定義されている。また、鹿行地域では本市のみ。

意見 高松は小中一貫校であるため、委員の人数を増やしても良いと考える。

採決の結果、全ての議案について全員賛成で、原案のとおり可決・承認すべきであると決定しました。

文教厚生委員会

介護保険料減免措置の延長、子育て支援センター新築工事の請負契約について審査

文教厚生委員会では、2件の議案を審査しました。

主な質疑

■議案第35号 鹿嶋市介護保険条例の一部を改正する条例

問 減免には申請が必要か。

答 申請の際の資料に基づきながら、詳細に状況を聞き取る必要があるため申請が必要である。

問 審査は市で行うのか。

答 審査の後遺症も対象か。
国から与えられた基準に基づき市で審査している。後遺症については、主治医の判断による。

意見 後遺症等については、明確な基準がないため丁寧な聞き取りをしながら対応すべきである。

■議案第37号 鹿嶋市地域子育て支援センター新築工事（建築工事）請負契約について

問 分割発注としている理由は。

答 国の方針に則り、中小企業の受注機会の拡大及びダンピング防止の観点から分割発注とした。

意見 建築後に不具合が生じないよう、工事監理すべきである。

採決の結果、全ての議案について全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。



都市経済委員会

市道路線の認定議案を審査

都市経済委員会では、1件の議案を審査しました。

主な質疑

■議案第38号 市道路線の認定について

問 今回認定する道路は平成24年に民間から寄附を受けたものを市で整備したとのことだが、寄附行為を受

答 採決の結果、本案は全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。

ける基準はどのようになっているのか。
様々なケースがあるが、利用状況や住宅など近隣の状況等を考慮し対応している。



市道 3520 号線の現地調査

路線名	事項	番地先の表示	延長・幅員
3520号線	起点	鹿嶋市大字林字廣山1042番49地先	327m 3.96m～7.43m
	終点	鹿嶋市大字林字廣山1042番132地先	



この二次元バーコードまたは各議員の顔写真下の二次元バーコードから一般質問の映像がご覧いただけます。

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。

掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「議会録画配信」をご利用ください。



さとう のぶなり
佐藤 信成 議員
(発言時間=90分)



Q 縮小・廃止すべき事業は

佐藤

現時点で、市長が縮小・廃止するべきだと考える事業・政策について伺う。

A 歴史資料館整備事業を執行停止

市長

既存事業のうち執行停止を考えている事業は、歴史資料館の整備事業である。その他の既存事業については、市職員が自ら業務改革を目指す意思を持たなければ行財政改革が成功しないと考えていることから、私が旗振り役となり、各部署に対して積極的に洗い出しを行うよう指示することとした。本当に必要な事業なのか、慣例的に続けてし

Q 歴史資料館の見直しの経緯は

佐藤

歴史資料館について、見直すことになった経緯について説明願う。

A 妥当ではないと判断

市長

本市の現状、将来を再考したとき、これまで検討されてきた場所や規模、時期、費用などで歴史資料館建設は妥当ではないと判断。市の基幹産業の構造改革が喫緊に迫られていることも踏まえれば、市の財政も人財もシビアな認識を持っており、配分先を考えなければならぬ。展示施設よりも、歴史、文化資料の収集、整理、研究をこれまで以上に手厚く、また、予算を子育てや市

まっている事業ではないかなど再度精査し、廃止や縮小を含めた事業内容の見直しを行っていく。見直す際には、市民の皆様にご理解をいただき、携わっていただいた皆様に対して説明をした上で進めていきたい。

Q 市長の合併の考えは

佐藤

広域合併について私は慎重派だ。合併したからと言って必ずしも財政が豊かになるわけではない。神栖と合併すれば豊かになるかもしれないが、相手の都合もある。市長の合併についての考えを伺う。

A 自主運営ができるうちは合併の必要はない

市長

行政サービスを充実させていくためには、市民に身近な市政、小回りの利く自治が必要。自治体の規模が大きくなり、市民と行政との距離ができ、その声に耳を傾けられなくなるようでは本末転倒。現水準で本市に住んでいる方ばかりでなく、通勤通学される方々に必要な行政サービスを届けることができるうちは合併の必要はないと考える。その場、そのときで市民の皆様にとって最善の形になるよう検討を続ける。

民要望の多い医療体制の構築などに振り向けていくべきと考えた。



Q 副市長2名体制の狙いは

笹沼

Nextかしま挑戦「明るく、心豊かに暮らせるまち鹿嶋」を形にしようとするときの主な施策とする「雇用と産業の創出」について、副市長を2人置きたいとのことだが、その狙いと背景は。

A プロジェクトの完遂のため

市長

製造業への支援として、次世代製鉄技術の確立を国・県とともにバックアップし、イノベーションを達成して、市内への新たな民間投資を呼び込みたい。また国における、2050年を目標としてカーボンニュートラルの実現を目指した次世代エネルギー

Q 歴史教育の考え方は

笹沼

本市ではこれまで英語教育に力を入れているが、郷土愛を含めた子どもたちへの歴史教育についての考えを伺う。

A 史実の背景、先人の偉大さを

市長

歴史教育については、単に史実を学ぶのではなく、史実の背景など先人の苦労や工夫、営みを学ぶことで、生きるための知恵、未来を創造し目的を達成するための教訓を身につけてほしい。併せて、郷土の先人の偉大さや歴史上の重要性、郷土がその時代時代に果たした役割を学ぶ

Q 政策の再構築は

笹沼

政策整理と再構築について、どこを整理してどのような再構築をしていくのか。

A 政策の断捨離をする

市長

歴史資料館整備事業に関する本年度予算の執行を停止する。基幹産業が構造改革を迫られる現状を鑑み、限りある財源等をソフト事業、具体的には歴史、文化資料の収集、整理、研究を手厚く実施すること、また子育て支援や医療体制の構築などに配分すべきと考えた。市の持つどの資産に人、財源を集中させるかを決める政策の断捨離をしなければならぬ。そして、実行するに当たっては生産性を基準とし、費用対効果をしっかりと見ていきたい。



ささめま やすひろ
笹沼 康弘 議員

(発言時間=40分)



一般質問

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。

掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「議会録画配信」をご利用ください。



この二次元バーコードまたは各議員の顔写真下の二次元バーコードから一般質問の映像がご覧いただけます。

Q 中心市街地の顔は

栗林

本市の中心市街地の顔となるのは何か。また、鹿島神宮駅構内へのエレベーター設置の可能性は。

A 中心市街地の顔は鹿島神宮

市長

現在のあるべき中心市街地は観光客でにぎわいを見せる非日常的な側面と、市民が普段の生活を営むための日常の側面、この2つの顔を併せ持つ必要があると考えている。中心市街地の顔は鹿島神宮であることは変わらず、地の利を生かした整備を図っていく。

政策企画部長

JR東日本に対し、駅のバリアフリー化について



くりばやし きょうこ 議員
栗林 京子
〔発言時間＝45分〕



Q 神野向遺跡について

栗林

神野向遺跡は現在の役所にあたる鹿島神宮境内附郡家跡として、昭和61年に国指定の史跡となり、令和8年から公園として整備することだが、その進捗状況と今後の整備計画は。

A 令和10年度から整備工事

教育委員会事務局部長

郡家跡整備基本計画策定後、令和3年度から整備基本設計を進めるべきものであったが、学校大規模改修事業など、一時的に膨らむ財政負担を回避するため整備計画を先送りし、令和8年度に基本設計、令和9年度に実施設計、令和10年度から整備

の要望を行ってきたところであるが、現時点ではエレベーター設置を含むバリアフリー化は、乗降客数が少ないため困難との回答を得ている。今後も要望継続と併せ、補助事業の活用や、国や自治体、鉄道事業者などでの応分での負担をする形でのバリアフリー化についても検討していきたい。

Q 歴史資料の受入れは

栗林

個人所有の貴重な歴史的財産を市が預かって後世に受け継ぐシステムの構築は。

A 受入れ体制づくりに向けて調査研究する

教育長

歴史資料の受入れは、温度や湿度、照明の明るさ、防災、防虫、防犯等の面で適切に管理できる施設が必要となるが、現在本市にはこのような施設がない。近年、廃校等を利用した保管施設の事例も出てきていることから、既存公共施設の有効活用を含め、文化財の適切な保管等について検討し、その上で寄託、寄贈の要望に応えられるよう、体制づくりに向けて調査研究をしていく。

備工事を行い、令和12年度に歴史公園として公開していくという計画を立てている。今後は、地域住民に向けたワークショップなどを企画し、地域コミュニティにもつながる歴史公園の整備に向けた機運醸成づくりを推進していく。



Q 原爆パネル展や絵画展の開催は

川井

平和都市宣言のまちの取組として、原爆パネル展もしくは高校生の描いた原爆絵画展の開催は検討できないか。

A 庁舎内での開催について検討課題とする

政策企画部長

平和への願いは、国民共通の思い。絵画の展示については、戦争の悲惨さを後世に伝え、平和の尊さを深く受け止めることにつながるものと考えている。平和都市宣言の看板設置をきっかけに市役所庁舎内でのパネル展示については検討課題とした。

Q 医療体制の充実は

川井

総務省が地方自治体に通知した公立病院経営強化ガイドラインの内容では、改革の重点を赤字解消から経営強化に変更した。地域医療確保に関する国と地方の協議の場で全国知事会代表、全国市長会代表は、赤字を理由にした病院統廃合は大変な地域の問題になると訴えている。本市の医療体制がどのようになっていくのか。

A 責任を果たしていく

市長

医療体制の充実是最優先すべき課題だと思っている。本市を含む地域全体が、質が高く、効率的な医療提供体制が確保されるように努め、しっかりと責任を果たしていきたい。

Q 新型コロナウイルス感染症の後遺症外来について

川井

後遺症外来の病院、相談場所の周知の徹底が必要と考える。併せて、鹿嶋市に後遺

症外来の設置の働きかけをしていただきたいと考えるが、いかがか。

A 県や医師会と意見交換

健康福祉部長

新型コロナウイルス感染症の後遺症は、少なくとも2か月以上持続し、ほかの疾患による症状として説明がつかないもので、疲労感、倦怠感、息苦しさ、思考力や記憶への影響等があり、日常生活に影響することもあるものと定義をされている。県は呼吸器内科、耳鼻咽喉科、皮膚科、精神科、心療内科、神経科のいずれかの診療科を有し、かかりつけ医等からの相談対応や紹介による診療対応を実施する罹患後症状外来実施医療機関を設置した。現在県内では52医療機関、鹿行管内では鉾田市、神栖市内の2医療機関に罹患後症状外来が設置されており、ホームページ、相談等において受診方法等についての周知の徹底を図っていく。また、管内における罹患後症状外来実施医療機関の設置状況等について県及び地元医師会と意見交換や確認等を行っていく。



かわい ひろこ 川井 宏子 議員

(発言時間=90分)



ここが知りたい！ 一般質問

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。

掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「議会録画配信」をご利用ください。



この二次元バーコードまたは各議員の顔写真下の二次元バーコードから一般質問の映像がご覧いただけます。



うだ かずお
宇田 一男 議員
〔発言時間＝60分〕



Q 自治体マイナポイントの活用は

宇田

現状のマイナンバーカード普及率について伺う。

また、マイナンバーカード普及促進のため自治体マイナポイントを導入・活用し、電子申請やキャッシュレス決済を推進していくべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 課題などを勘案し検討する

健康福祉部長

4月30日現在のマイナンバーカード取得状況は申請ベースで50・5%である。

総務部長

自治体マイナポイントは、マイナンバーカードの普及、キャッシュレス決済の利用促

Q 働き方改革&デジタル化の構想は

宇田

市長の政策目標の一つとして、「働き方改革&デジタル化の推進」を掲げている。現時点での構想を伺う。

A 行財政改革をデジタル化

市長

行財政改革をデジタル化すること、市職員の業務改革を行い、仕事量を減らすことが働き方改革の第一歩であると考えている。またデジタル化を生産性の向上として見るだけでなく、市民や事業者が活動しやすい、市民の立場に立った視点も置きながら進めていきたい。

Q 交付金を活用したデジタル化の実装は

宇田

中心市街地活性化事業を始めとする各種施策にデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、デジタル化の実装を図るべきと考えるが、市の見解は。

A 交付金は最大限活用する

政策企画部長

中心市街地活性化事業における自治体運営サテライトオフィスについては、コスト面から難しいが、デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用については、今後も検討していきたい。

総務部長

市の施策へのデジタル化の実装については、メリットが期待できる反面、新たな経費が必要となるが、交付金や補助金が見込まれるものについては、今後調査研究し、最大限活用していきたい。



立原 弘一 議員
〔発言時間＝60分〕

Q 移住促進策をさらに推進しては

立原 移住促進策を強めてはい
かがか。鹿嶋の良いところ
をもっと押し出せば、まだまだ
鹿嶋へ住もうと思う方、特に子育
て世代など開拓できるのではない
かと考えるが、市長の見解は。

A 魅力的な資源を磨き上げる

市長 本市は温暖な気候に加え、豊かな自然、豊かな食材、そして鹿島アントラーズに代表されるスポーツ文化など、様々な魅力的な資源がある地域である。これらの資源を磨き上げ、効果的な情報発信を行っていくことにより、リモートワークの普及を機に

注目されているワーケーションや2拠点移住、田舎暮らしといった需要の取り込みを目指し、手軽に滞在できる宿泊別荘、貸別荘やマンスリー移住の機会確保などについて検討を行っている。

Q 広域火葬計画の現状は

立原 広域火葬計画では平常時に様々な準備や訓練を求めているが、現状は。

A 毎年訓練を実施中

市民生活部長 平常時の準備について、火葬場委託事業者からの資器材の確保及び作業員の増員を想定しており、過去に協議をした経過もある。また、遺体安置所の確保については、災害の規模等によって市有公共施設などを使用。しての対応が必要と想定している。訓練については、関東甲信越11都県の参加により毎年訓練を行っており、被害が起きたことを想定したメール等によるやり取りを行っ

PCR検査の拡大は

ている。令和2年度からは、県内市町村や火葬場も参加しており、火葬場から県に対し、被災状況及び受入れ可能数を指定の様式にて報告し、県が取りまとめ、広域火葬の割振等について通知をするといった訓練をしている。

A 動向を注視していく

**感染症対策
担当参事** 国の方針では状況に応じて適時組み合わせを図りながらPCR検査、抗原定量検査、抗原定性検査を使い分ける方策が示されているところであり3種類いずれの使用も可能となっていることから、引き続きその動向を注視していく。



この二次元バーコードまたは各議員の顔写真下の二次元バーコードから一般質問の映像がご覧いただけます。

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。

掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「議会録画配信」をご利用ください。



ますい あきひろ
舛井 明宏 議員
(発言時間=90分)



Q スケートボードの認識は

舛井

今後のスポーツ先進のまちづくりの中で、スケートボードに対する市の認識は。

A 整理すべき課題も多い

教育長

今後、競技人口が急増するものと考えている。地域のスポーツ振興の一つとして取り組みたいが、管理運営方法や環境対策など、整理すべき課題も多々ある。

舛井

日本全国には243もの公共スケートボードパークがある。しっかりと調査研究していただきたい。今日ではスポーツとして世界的にもしっかりと認

識されているスケートボードが楽しめる環境整備は、行政として考慮すべきだが、スケートボードは市内の公共施設等のどこでやればよいのか、市の見解は。

**教育委員会
事務局部長**

現在、市の公共施設では専用の場所は整備されていないため、市内の民間施設や神栖市総合運動公園のスケートボードパークなどを案内することになる。

Q 青少年の健全育成の場になるのでは

舛井

スケートボードパークは、子どもたちの居場所づくり、チャレンジ精神、努力の大切さ、マナー・ルールを守って公共施設を使うことを学ぶなど、青少年の健全育成の場という観点でも効果的と考えるが、市の見解は。

A 調査研究を進める

教育長

青少年の健全育成に大いに寄与することは期待できるとは、新しいスポーツでもある

ことから、パーク整備の前段階として、まずは近隣市の状況、本市のスケートボーダーの状況、そして安全性を確保した管理運営の手法等について、先進事例を参考に調査研究を進めてまいりたい。

舛井

安全、管理面で一定程度の課題があることは理解するが、駐車場や人通りの少ない道路などで行わざるを得ない現状は、かえって危険。既に5、6年前にスケートボードパーク整備の要望書が市へ提出されている。市内外から計2816名もの署名数があった。もし今、署名活動をしたらこれ以上の数になることは間違いない。今回のパーク整備の提案は、数多くの市内の方々からのスポーツ先進のまち「鹿嶋市」への切なる願いであるということも理解していただき、具体的な早期の検討と実現をお願いする。

【こんな質問もありました】

① ICTを活用した市民協働の道路環境等通報システムについて
② 新可燃ごみ処理施設の進捗と中継施設の基本計画及び設計について



Q 高齢者のスマホ購入に助成を

山口

本市の行政手続のデジタル化は、他市と比べてかなり先行している。一方で、誰一人取り残さないデジタル社会の実現のためには、情報弱者に対する支援も同時に進める必要がある。高齢者が初めてスマホを購入する費用の一部を助成する事業が全国で広がっており、本市でも検討すべきであると考えているが、いかがか。

A 調査研究をしていく

総務部長

補助を実施している自治体では、金銭的な支援にとどまらず、スマホ操作の支援も行っている。スマホ購入時の補助

は一時的な金銭的負担の軽減になる一方、いわゆるガラケーからスマホに切り替えたことで月々の支払額が増加になる可能性もあることから、経済的情報弱者の支援として有効であるか、また財源確保の点から、単年度限りの補助となる可能性があることなど、総合的に有効な施策であるか否か、補助要件や期待できる効果なども含め調査研究していく。

Q デジタル地域通貨の導入は

山口

デジタル地域通貨とは、スマホなどのデジタル媒体を使い、特定の地域だけで発行、使用される通貨である。ボランティア活動や市内加盟店の消費に対して付与される地域ポイントと、現金をチャージできる電子版地域マネーの両機能を持ち合わせ、買物などに使うことができる。地域経済の活性化と地域課題の解決に役立つデジタル地域通貨の本市の導入について検討してはいかがか。

A 構想を練っている

経済振興部長

今回の補正予算でデジタル商品券を併用するプレミアム付き商品券事業に係る費用を計上しているが、その事業の次のステップとして、デジタル地域通貨を視野に入れた構想を練っている。将来的にはイベントや健康講座などの参加ポイントや自治会ポイント、ボランティアポイントをはじめとする地域ポイントの要素を取り入れた形でのデジタル地域通貨を導入することで、地域経済の活性化にとどまらず、各課で抱える地域課題の解決にもつなげていきたい。先行事例を研究し、持続可能な運用方法を検討していく。

【こんな質問もありました】

① 水質浄化の向上について
② 地域防災力の強化について



やまぐち てつひで
山口 哲秀 議員

(発言時間＝60分)





一鹿嶋っ子の夢、
応援しています—

きかせて！
あなたの夢

下を向かないこ
とを心がけて

将来の夢は警察官になることです。テレビドラマの「相棒」を両親が熱心に観ており、かっこよく事件を解決する主人公のような刑事に憧れ、警察官になろうと思っていました。そのため「下を向かない」ことを心がけ、しっかりと前を向いて話すようにしています。



大野中学校3年生
出頭 拓人さん

張らなければと思っています。

鹿嶋市の好きなところは、ご近所付き合いが深いところだと思います。気になるところといえば、野良犬が多く恐怖を感じるころと、道路の凸凹が多いなと思っています。また最近では、分別ができていないごみが多いと母が話しています。

久々の対面取材でしたが、対面ならではの雰囲気を実感！取材を通じて拓人さんの心掛けている「下を向かない」「相手を見て話す」姿を見て、何事にもまじめに取り組む日常の様子が見えました。目標を目指す中、解決すべき課題も多いと思いますが、下を向かず日々前進してください。期待しています。
(小池・宇田)

議会 TOPICS

3名の議員が表彰を受けました！

全国市議会議長会並びに茨城県市議会議長会から、永年にわたり地方自治の発展と市政の振興に貢献した功績によりそれぞれ表彰を受けました。

全国市議会議長会並びに茨城県市議会議長会表彰

議員在職30年以上 飯塚俊雄 議員

全国市議会議長会表彰

議員在職10年以上 佐藤信成 議員

茨城県市議会議長会表彰

議員在職8年以上 栗林京子 議員



議長から表彰状の伝達を受けた議員
左から佐藤信成議員、飯塚俊雄議員、栗林京子議員

委員長 樋口富士男
委員 小井 明宏
委員 宇田 一男
委員 笹田 康弘
委員 内野 敬仁

◆広報広聴委員会

編集後記 内野敬仁
今号より、広報広聴委員となりました内野敬仁です。市民の皆さんにとって、分かりやすく、より身近に感じてもらえる市議会の広報紙となるよう、取り組んでいきたいと思っています。4月1日から不燃ごみの分別の方法が変わりました。そこで、今号の特集は、その背景となった取組について、「資源が循環するまちへ」をテーマに、サントリーホールディングス様を取材しました。
サステナブルなリサイクル手法としての「ボトルもボトル」は全国的に見ても先進的な取組で、未来の子どもたちにきれいな環境を残すことにつながると感じました。

次回定例会は 8月31日(水) 開会予定です

8/ 31(水)	本会議：開会
9/ 6(火)・7(水)・8(木)	本会議：一般質問 ※8日は予備日
9(金)	本会議：質疑・委員会付託、予算決算常任委員会
12(月)・13(火)・14(水)	予算決算常任委員会
16(金)	常任委員会
20(火)	予算決算常任委員会
22(木)	本会議：委員長報告・討論・採決・閉会

※変更の場合があります。詳細はHPでお知らせします。
<https://www.city.kashima.ibaraki.jp/site/19gikai/3297.html>

鹿嶋市議会だより とびら No.109 (令和4年8月1日発行)

■発行人 議長 篠塚洋三 ■編集 鹿嶋市議会広報広聴委員会
■発行 茨城県鹿嶋市議会
〒314-8655 茨城県鹿嶋市平井 1187 番地 1 電話：0299-82-2911 (代)

次号の「とびら」は令和4年11月1日発行 予定です